

## 社会科学学習指導案（歴史的分野）

展開学級 3年2組

展開場所 3年2組教室

授業者 谷藤 良昭

### 1. 単元名

現代の日本と世界「戦後日本の発展と国際社会～占領、独立、そして成長へ～」

### 2. 単元の考察

本単元は、学習指導要領の歴史的分野の内容（6）現代の日本と世界の中のア「冷戦、我が国の民主化と再建の過程、国際社会への復帰などを通して、第二次世界大戦後の諸改革の特色を考えさせ、世界の動きの中で新しい日本の建設が進められたことを理解させる」ことに基づいて設定している。

市民革命によって始まった近代は、産業革命を経た列強が富の拡大をねらってこぞって植民地の獲得を目指した時代だった。この帝国主義国どうしの競争は幾度となく戦争を引き起こしてきたが、第二次世界大戦末期に未曾有の威力をもつ原子爆弾が開発・使用されたことによって、その後の列強の政策は大きく変わることになった。現代、すなわち第二次世界大戦後の国際政治においては核の保有が国の発言力に直結し、核保有国どうしの対立は直接的な戦争以外での解決が求められるようになった。その結果、近代資本主義に対する考え方の違いから、世界は大きく資本主義国家群と社会主義国家群に二分され、イデオロギーの異なる大国どうしの関係性は決して良くなくても直接戦火を混じ合わない冷戦状態となった。

この情勢の中で、東西それぞれの陣営は、特にその中心となったアメリカとソ連は互いに自国側のイデオロギーの優秀さを宣伝し、国力において相手を上回っていくため、最先端の兵器や宇宙開発からスポーツなど文化面までしのぎをけずって陣営の国力を誇示しようとした。米ソのイデオロギーの対立は、朝鮮半島、ベトナム、中東などの第三世界にも影響を及ぼし、敵対する当該国を別々に支援する代理戦争のような形で行われた。

最終的には社会主義国側の中で、国民を抑圧する独裁政治や社会主義経済の行き詰まりによって東側諸国の多くで国家体制が崩壊し、冷戦も終結した。20世紀後半を境に、自由主義の価値観がグローバルに展開され冷戦によって抑えられていた民族や宗教による対立が噴出する現代史の後半へと突入していくことになる。

現代日本の諸政策は、このような世界の大きな動きを背景にして実施されている。したがって、世界的着眼点視点を通して、日本の諸政策を理解していくことに留意していきたい。

## (2) 新しい日本の建設について

我が国の現代史は、第二次世界大戦の敗戦国として、すなわち GHQ によって統治された状態でスタートした。第二次世界大戦の結果からアメリカが主導して占領政策を実施し、「自由」「平等」「民主主義」といった西側の価値観が国民に広く浸透していくことになった。戦争の影響から国内外で大きな混乱があったが、我が国の場合は国家が転覆するような事態には至らずに戦後復興の道を歩むことができた。その理由として下記の4点が考えられる。

- ① 玉音放送からおよそ半月という短い期間で第二次世界大戦の停戦協定を結ぶことができ、その停戦が実施されたこと
- ② 無条件降伏によって、政治体制の移行がスムーズだったこと
- ③ 戦後の食糧不足と国内経済の混乱は続いたが、戦前にはなかった娯楽が社会に広がったり、認められていなかった権利が認められるようになったことで、人々が日々よくなっていく現状を感じ取れたことで将来に向けて希望を持って生活できたこと。
- ④ 地政学的に日本の位置が冷戦体制下において重要であり、アメリカが日本を放置できなかったこと。

①政治・外交面については、我が国の政府がポツダム宣言受諾を決定した8月14日から9月5日のソ連軍による歯舞群島の占領までの期間の歴史的事実を取り扱うことで、日本の終戦記念日である8月15日の後も日本統治下にあった地域で混乱や戦闘があったことを理解し、現在に続く北方領土問題にも影響を及ぼしていることに気づかせたい。そこで題材として、学説的にも議論の対象とする第二次世界大戦の終戦日について取り上げる。終戦日を考察して討論することで、当時の国際状況について広く理解させて定着させることができると考えた。

②国内政治については、戦後の GHQ の統治下の期間は、戦前や現在とは異なり、天皇や我が国の政府の上に GHQ が位置していたことを気づかせたい。終戦直後は占領軍に対して複雑な感情を持っていた国民が多くいたことに留意しつつも、GHQ の民主化政策と民主主義実現に対する期待が高まっていったことを背景にして、日本国憲法の制定をはじめとして大きな改革が次々に進められて現代の日本の骨組みが形成されたことについて理解させていきたい。

③国内経済については、食料配給制度が維持されたものの、引き揚げ・復員による人口増や戦争による経済インフラの破壊によってインフレが起き、食料や日用品の入手が困難になっていった状況や、個人による勝手な売買が禁止された中でも、闇市を利用したり列車を使って遠方から食べ物や日用品を手に入れるなど、国民生活に苦労があったことを理解させたい。生徒にとって当時の社会状況をイメージ喚起しやすくするため、地元である千葉に関連した資料や戦後の国民の日常生活からエピソードを通して、当時の国民が貧しさにただ苦しんだだけではなく、貧しさからの解放や平和の到来に対して期待を膨らませていった時代であることを理解させていきたい。

④ソ連が1949年に原爆実験に成功して第2の核保有国となったことでアメリカの一国優位が崩れ、西側諸国と東側諸国とが対立する冷戦体制が生まれたことを取り扱う。また、冷戦の延長上には「熱戦」として朝鮮戦争が起きたこと、その理由として朝鮮半島や日本が冷戦体制下では地政学的に重要な土地だったことを地図から読み取らせることで、アメリカが日本の独立と引き換えにして片面講和と安全保障条約の締結を急いだ背景を理解させていきたい。1955年には日ソ共同宣言によって、日本の国際連合への加盟へとつながって国際社会に復帰を果たした一方で、北方領土問題を一時棚上げしたことによって今日につながる課題が生じたことについて、諸資料をもとにして政策の是非を考察させていきたい。

本単元を通じて、生徒の表現力を向上させていきたいと考えている。第二次世界大戦後の諸改革の特色や国際環境の変化については、政治・経済面などの諸改革の特色を、新たな制度が生まれたことなどに着目して考察し、戦前との比較などを通して、自分の言葉で表現する場面を設定することとする。

### 3. 指導計画

時	学習内容	学習活動
1 (本時)	占領下の日本	<ul style="list-style-type: none"> <li>・敗戦後の日本の状況や発生した問題、GHQによる占領政策について理解する。</li> <li>・戦後の国民の苦難について、諸資料や体験者などの話を通して考える。</li> </ul>
2	民主化と日本国憲法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・戦前との比較によって、具体的な改革の内容に関心を持つ。</li> <li>・憲法制定を通して、民主化の実態を理解する。</li> </ul>
3	冷戦の開始と植民地の解放	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際連合の誕生と東西冷戦について理解する。</li> <li>・中国、朝鮮を中心に、戦後のアジアの動きを、世界の動きを背景に理解する。</li> </ul>
4	独立の回復と55年体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>・占領政策の転換を、東アジアの動きと関連付けながら理解する。</li> <li>・サンフランシスコ平和条約や日米安全保障条約について、当時の世論を意識しながら話し合う。</li> </ul>

### 4. 単元の目標

- (1) 世界的な視野を持って、現代の歴史観を持つようとしている。(関心・意欲・態度)
- (2) 戦後の政策に対し、当時の情勢などを踏まえて判断し、自分の意見を述べることができる。(思考・判断・表現)
- (3) 当時の写真や統計などの資料から、社会の様子を読み取ることができる。(技能)

(4) 戦後の日本の歩みについて、日本の政策を理解することができる。(知識・理解)

## 5. 本時の指導

### 1 題材名

占領下の日本

### 2 本時の目標

- ・戦前、戦中に日本が統治した地域に目を向け、敗戦後の混乱や問題を幅広く考ようとする(関心・意欲・態度)
- ・敗戦後の混乱した日本の各地で生活する民衆のすがたを多面的に考察する(思考・判断・表現)

### 3 本時の展開

時配	○学習活動 ●教師の発問	○教師の支援 ◇評価
2分	○ペアで前時までの基礎事項を復習する	○出題時間の管理
4分	○リンゴの唄を聴き、歌手の並木路子が発した言葉を予想することを通して、戦後の日本社会のイメージを持つ。「リンゴってどんな味がしたんだろう」	○曲を流す ○並木路子のプロフィール紹介
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">           戦後、日本はどのように再出発したのか         </div>	
10分	○クイズの予想を通して、食料や日用品が不足するなど、戦後の過酷な国民生活を理解する。 ① 食を得られていない人がいた ② 生活物資を得ることが大変だった ③ 物資はきまりを破って入手していた ④ 生活必需品も足りなかった ⑤ 生活必需品は素材を代用していた ⑥ [まとめ] もらって嬉しかったもの ● 他になかったものは何か 「親、家、仕事」 ○ものがないのは、多数の引揚げ・復員も原因であることがわかる。	○当時の写真を提示  ○闇市と販売品を補足  ○戦争遺児を補足 ○青空教室を紹介 ○失業者数と率を提示 ○残留孤児を補足
10分	○配布された資料から、ポツダム宣言受諾決定後も	○プリントを配布

4分	<p>日本統治地域において混乱した状態が続いたことを読み取り、発問を通して理解を深める。</p> <p>○植民地を含めて失った領土を資料で確認する</p> <p>○終戦はいつか、理由とともに答える</p>	<p>○8月15日と9月2日とする根拠を説明</p>
10分	<p>○戦後の国内政治は、GHQの統治下に行われ、アメリカの発言権が強かったことがわかる。</p> <p>●プリントから連合国に○をつける</p> <p>●連合国の中で最も発言権が強い国はどこか</p>	<p>○指（個人）理由（ペア）</p> <p>○戦犯について補足</p>
10分	<p>○日本政府の上に連合国が位置し、GHQ主導で戦争処理と戦後改革が行われていったことがわかる。</p> <p>●マッカーサーと天皇のどちらが偉いのか</p> <p>○極東国際軍事裁判について、説明する。</p> <p>●発行禁止処分になった朝日新聞の記事は何か</p>	<p>○教科書 p227⑧の写真</p> <p>○戦前の天皇の位置づけを確認する</p> <p>○反米感情を抑えることが目的だったことを補足する</p>
10分	<p>○国民には進駐軍への葛藤、終戦の安心感、娯楽と自由への希望があり、戦後の改革を受け入れる素地が国民にあったことを資料を通して考える。</p> <p>●平和の訪れによって得たものは何だったか 「娯楽」「平和」「希望」</p> <p>●進駐軍への抵抗がなかったのはなぜだろうか。</p>	<p>○「敗戦直後の小学生の作文」と「進駐軍と子どもたち」</p> <p>○当時の人気だった男の赤ちゃんの名前ランキング</p> <p>○東京ブギウギ替え歌</p> <p>○新しい憲法を受け入れたか</p>

## 6. 本時の評価

- ・敗戦後の混乱や問題を幅広く考えることができたか
  - A：ペアワークに参加し、自分の意見をもつことができた
  - B：ペアワークに参加したが、自分の意見をもつことができた
  - C：ペアワークに参加することができなかった
- ・敗戦後の混乱した日本の各地で、力強く生きる民衆の姿を考察することができたか
  - A：複数の資料から民衆の姿を多面的にとらえて記述することができた
  - B：1つの資料から民衆の姿を一面的にとらえて記述することができた
  - C：自分の考えを記述することができた
  - D：自分の考えを記述することができなかった